

前進をしない人は
後退をしているのだ
ゲーテ
(ドイツの詩人)

S-mile 通信



令和7年9月15日発行 第91号

発行/理事長室 浜松市中央区大山町 2958 番地の1

てんとうむし合同夏祭り

8月29日(金) てんとうむし東山保育園とキッズホーム合同の夏祭りが行われました。10時の開始時間には、会場のてんとうむし東山保育園玄関口に両園合わせて50名の子供が集まり大賑わいでした。子供達は最初に盆踊りや神輿担ぎを行った後、室内に設けたそれぞれの出店へ順次移動しました。

“おみせや”コーナーでは、店員役の年長さんが「いらっしゃいませー」と元気な挨拶を繰り返し、チケットを握った子供達が、好きな商品を選び買い物を楽しみました。また隣室の“ゲーム”コーナーでは、『的当て』『ひもくじ』『たこ焼き入れ』といった楽しいゲームが用意され、1歳未満の子供もチャレンジしました。ゲームが成功し大声で「やったー」と飛び跳ねる子供や、上手くできずに半ベそをかく子供がいたり終始会場は活気に溢れていました。子供達にとっては良い夏の思い出になったお祭りでした。



静岡県高齢者福祉研究大会

9月3日(水) 静岡県老人福祉施設協議会主催の「第14回静岡県高齢者福祉研究大会」がアクトシティ浜松で開催され、県内55団体が五つの会場に分かれ、取り組みの成果を発表しました。グリーンヒルズ東山からは内山主任、宮津リーダーのお二人が登壇され、「科学的自立支援介護—成果を出す取り組み」というテーマで発表されました。

ADLが低下した入居者へ科学的自立支援介護を実践し、運動プログラムの導入を行い立ち上がりや移動動作に改善が見られたこと、また排便形状の改善が本人の生活の質を高め、職員の排泄ケアにかかる負担が軽減した成功事例を、実際の映像を用いて紹介しました。

会場ではお二人の分かりやすい内容に理解を示し頷く姿も見られ、発表が終わると大きな拍手が湧きました。

慶成会が一番力を入れている取り組みとして、改めて科学的自立支援介護の実践を対外へ強くアピールできたのと同時に、従来のお世話型介護を行う施設への問いかけにも繋がったのではないかと思います。

内山主任、宮津リーダーのお二人とも準備が大変だったかと思いますが、慶成会の代表として大変貴重な発表をしていただきました。ありがとうございました。



夏休みチャレンジボランティア

8月18日(月)~20日(水) 浜松市社会福祉協議会より夏休みチャレンジボランティア受け入れの依頼があり、高校3年生1名がデイサービスセンター野の花に参加されました。以前、同デイサービスでボランティア経験のある妹さんから勧められ、この機会に参加してみたいと思ったそうです。

介護施設のボランティアは初めてということもあり最初は戸惑いも見られましたが、次第に慣れてくると積極的にご利用者への声掛けや見守りを行いながら、しっかりと職員のサポートを果たしていました。

本人は理学療法士の道を考えており、高齢者施設の仕事にも興味があるそうです。

今回のボランティア体験を、将来に活かしていただければ大変嬉しいです。



浜松商業高校生徒さんの施設体験研修

8月29日（金）県立浜松商業高校女子バスケットボール部の生徒さんが見え、グリーンヒルズ東山で体験研修を行いました。女子バスケ部では顧問の杉本貴保先生による指導の下『木鶏会』を実践しており、慶成会が木鶏会を導入した時からの深い交流があります。今回杉本先生から、生徒に高齢者と関わる機会を持たせてほしいと相談をいただき、受け入れを快諾しました。

以前の女子バスケ部は、チームとしての結果を出すことが難しい状況でした。頭で考え我慢強く続けることを苦手とする生徒が多い中で『木鶏会』を導入しました。「致知」を読み進めると、生徒の一人ひとりが、思考の大切さや物事に粘り強く取り組む姿勢が大事であることに気づき、次第にバスケ部の様子に変化が見られました。『木鶏会』の継続が生徒の人間力を高めチームの成長に繋がり、強い結束力で大会の上位に入ることもできました。



体験研修を終えた後日、生徒の皆さんが感じ学んだ内容を感想文にまとめ送ってくれました。「お年寄りの元気な姿を見て自分も元気をもらった」「職員が笑顔でやさしく寄り添う姿が印象的だった」など生徒が持っていた高齢者施設のイメージに大きな変化があったようです。今回の体験を通して、介護現場の楽しい雰囲気を理解してもらえたのではないかと思います。女子バスケ部の皆さん、ありがとうございました。



“こども縁日”

8月16日（土）「こども食堂きらり」の夏季イベントである“こども縁日”を、グリーンヒルズ東山玄関で開催しました。当日は和地、花川小学校の児童を中心に、入居者のご家族や職員の子供も立ち寄り60名の小学生が遊びに来てくれました。

開催にあたり、近隣の学校に在籍する高校生や大学生など7名の学生さんがボランティアに参加してくれました。そのおかげで、ダーツやディスグッターなど新しいゲームコーナーを用意することができ、多くの子供達に楽しんでもらうことができました。



また、今回は飲食コーナーも充実させ、外部からのキッチンカーや「しばぐり」によるおにぎりやゼリーの販売も行いましたが、商品の殆どが売り切れとなりました。

子供達は、ゲームで多くの景品が獲得できたと自慢し合いながら喜んでいました。猛暑が続く中、空調の効いた安全な場所で思い切り楽しんでもらうことができたと思います。

例年この企画は地域交流の一環で開催していますが、今後も子供達が喜ぶようなイベントを企画していきたいと考えています。ボランティアの皆さん、暑い中のお手伝いありがとうございました。



管理者研修

8月22日（金）管理者を対象としたムービー視聴研修を、地域交流室で開催しました。16名の参加者は、働く喜びを考えるドキュメンタリームービー「志 GOTO 人」を視聴後、「全員が本気のチームになるために大切なことは？」「みんながベストを尽くすために、リーダーは何をするか？」という二つのテーマを念頭に置きながら映像を視聴しました。

ムービーの内容は、“コールドストーン”という学生アルバイト中心のアイスクリーム屋さんです。お店の売り上げ目標を達成するために、各アルバイトが意見やアイデアを出し合いながら店長を中心にチームの結束力を高めていくストーリーです。



管理者の皆さんは、映像から気づき感じた内容をグループ内で共有し、発表いただきました。日頃現場を統括する皆さんにとっては、マネジメントの在り方やチームをまとめ目標へ導くことができているか、色々思索しながらも有意義で学びの多い時間になったと思います。

常にリーダーは人間力を高め、研修を通して学びを繰り返すことが大切であると考えます。皆さん、お疲れさまでした。